



# 2019年3月期 第3四半期 決算説明資料

証券コード 3559 株式会社ピーバンドットコム

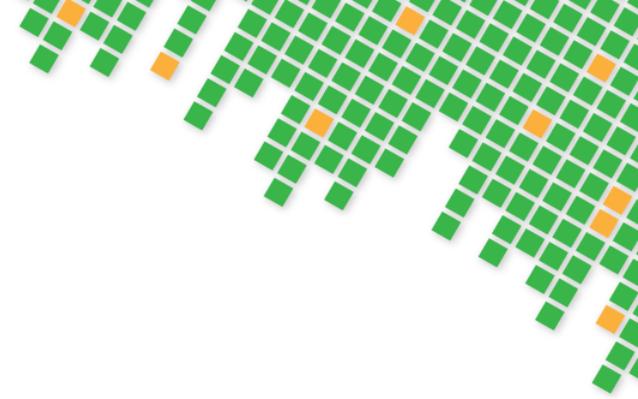


2019年2月13日

## 1. 第3四半期決算概要

## 2. 今後の事業戦略

## 参考資料. 当社の事業概要



# 1. 2019年3月期 第3四半期 決算概要

---

## 決算ハイライト

		前期比	利益率	
業績	売上高	1,482 百万円	0.6%増	↑ ↑ ↑ ↑
	営業利益	210 百万円	1.9%増	
	経常利益	213 百万円	1.4%増	
	当期純利益	159 百万円	2.7%増	

### 売上 トピック

- ✓ 売上高は前期比0.6%増、**受注高は前期比4.8%増**
- ✓ 基板設計、製造、実装の**ワンストップ利用**が引き続き拡大
- ✓ 中国景気の急激な変化の中、**当社顧客の需要は安定して推移**
- ✓ 電子工業生産は前年並みで推移し、需要は安定

### 利益 トピック

- ✓ 採算管理の強化、仕入先の新規開拓等により、**営業利益率14.2%**

## 第3四半期累計は**最高売上、利益を更新。**

単位：百万円

	前年同期	当第3四半期			2019年3月期 通期業績予想	
	実績	実績	増減額	増減比	計画	進捗率
売上高	1,473	<b>1,482</b>	<b>+8</b>	<b>0.6%</b>	2,102	70.5%
売上総利益	500	<b>525</b>	<b>+25</b>	<b>5.0%</b>	725	72.5%
販売管理費	294	<b>315</b>	<b>+21</b>	<b>7.2%</b>	430	73.2%
営業利益 利益率	206 14.0%	<b>210</b> <b>14.2%</b>	<b>+3</b>	<b>1.9%</b>	295 14.0%	71.4%
経常利益 利益率	210 14.3%	<b>213</b> <b>14.4%</b>	<b>+3</b>	<b>1.4%</b>	298 14.2%	71.4%
当期純利益 利益率	155 10.5%	<b>159</b> <b>10.8%</b>	<b>+4</b>	<b>2.7%</b>	224 10.7%	71.0%

四半期毎の売上累計は**継続して成長**。

(百万円)



※2017年3月期第2四半期以前の数値は参考値です。

## 売上高は前期比0.6%増、受注高は前期比4.8%増

試作から**量産までの利用が増加し、3Qまでの累計受注高は前期比4.8%増。**  
量産は試作と比べ受注から出荷までの期間が長く、**4Q中の売上の見込。**

新規成長+既存産業分野の、情報をセンサーで捉え解析し「見える化」する  
**IoT関連の受注**が拡大。

Eコマースで手軽に利用出来る当社サービスは、  
**IoT、ウェアラブル、ロボティクス**等、成長分野のベンチャー企業にとって  
利用しやすいサービス。



GUGENの大賞作品の  
"bioSync"。他人と腕  
の動きの共有をして  
パーキンソン病等の解  
決を目指すウェアラ  
ブルデバイス。



千葉工業大学で開発し  
ている障害物や段差も  
乗り越え可能な8脚型  
のロボット。未来の乗  
り物のひな型になるか  
もしれない。

## ワンストップ・ソリューションの拡大

プリント基板の作成プロセスである基板設計・基板製造・部品実装をワンストップで利用いただく顧客が継続して増加。



製造サービスの、品質に満足いただいた方が設計・実装に繋がる。

ワンストップ利用率が増加。

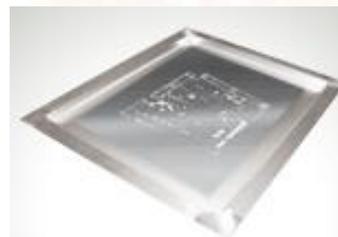
**18.6 %** → **19.8 %**  
(前期3Q累計) (当期3Q累計)

基板の周辺商材である**メタルマスク**や、**ハーネス**の売上も拡大。

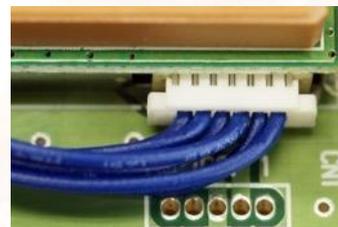
メタルマスク **8.9 %**増

ハーネス **30.0 %**増

※前年同期比



基板に部品実装する際に使用する治具のメタルマスク。部品極小化に伴い、需要が増加。



製品内で基板同士を接続する際などに使用されるハーネス。車載用途も多い。

## 国内生産実績は前年並で推移

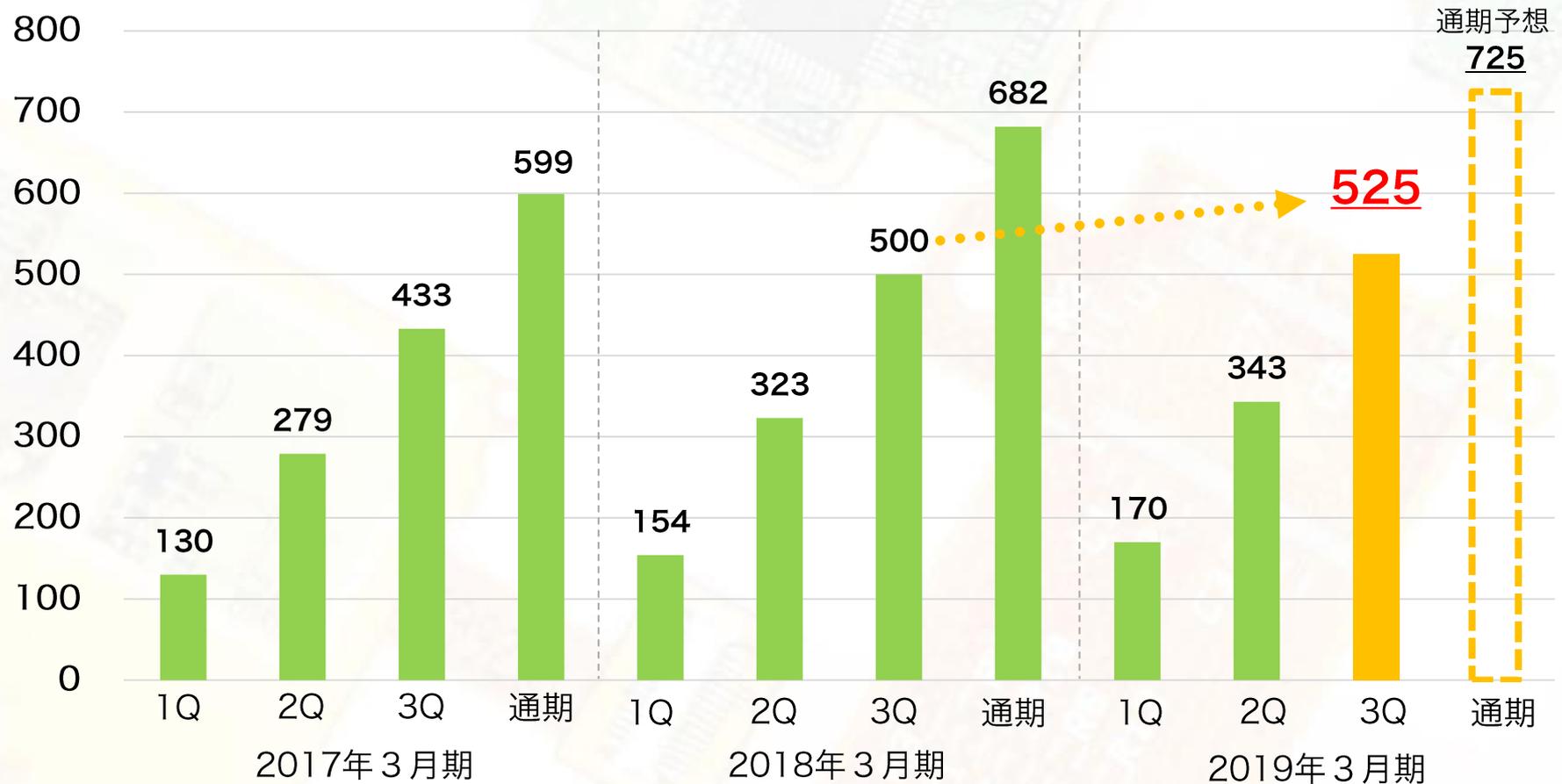
米中貿易摩擦等による中国景気の先行きは不透明で、自動車の輸出や設備投資の減少等が見られるが、特定の業界に偏りない**当社顧客の需要への影響は見られない**。産業機器、電子部品などは増加傾向で、国内の**電子工業生産は前期比98.5%**と前年並。

### ■国内電子工業生産実績（出展：JEITA 2019年1月発表）

品目	2018年1月～11月累計	
	金額（百万円）	前期比
民生用電子機器	556,385	94.7%
産業用電子機器	3,098,323	100.5%
電子部品	2,507,532	103.9%
└ 電子回路基板	437,760	102.4%
電子デバイス	4,520,345	94.9%
└ 集積回路（IC）	2,534,089	104.8%
電子工業計	10,682,585	<b>98.5%</b>

案件ごとの採算管理を徹底、仕入先の新規開拓等により、  
売上総利益525百万円、前年同期比 5.0%増。

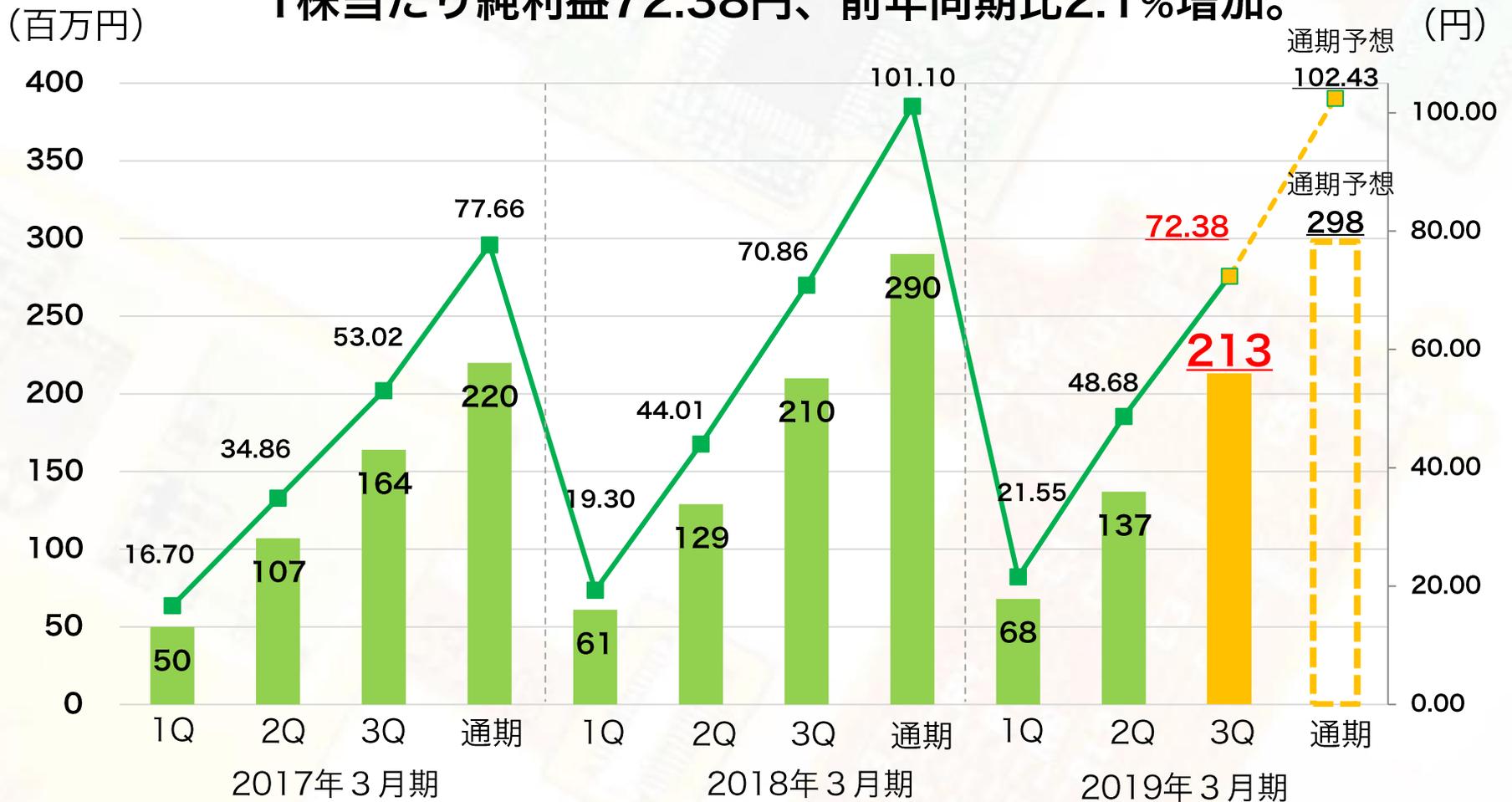
(百万円)



※2017年3月期第2四半期以前の数値は参考値です。

# 経常利益、1株当たり純利益の累計推移

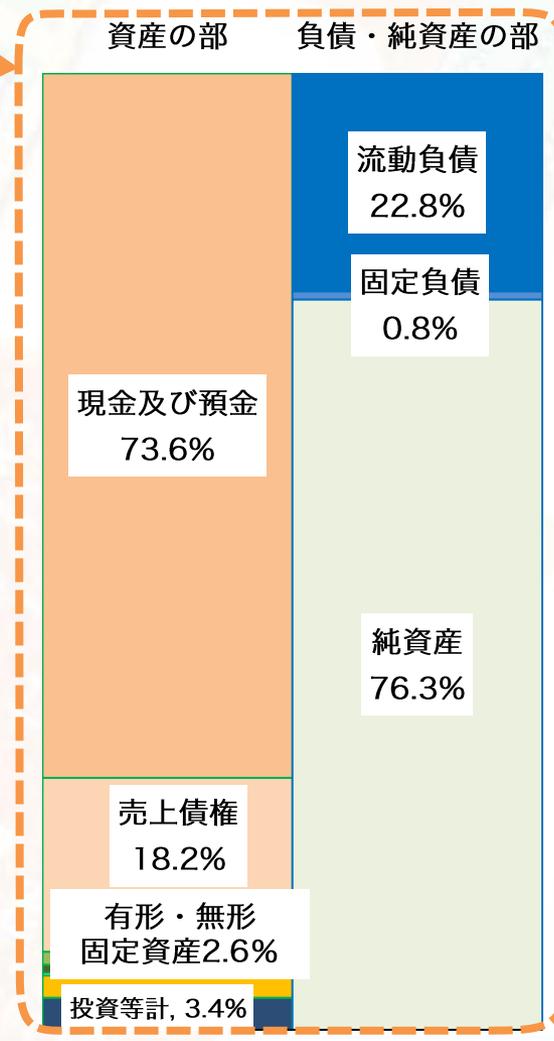
経常利益は213百万円、前年同期比1.4%増加。  
1株当たり純利益72.38円、前年同期比2.1%増加。



※2017年3月期第2四半期以前の数値は参考値です。

将来の投資に備える、健全な財務体質。自己資本比率76.3%。

	単位：千円	前期末	2018年 12月末	増減額
資産の部	現金及び預金	790,914	916,621	125,706
	売上債権	260,050	226,320	▲33,729
	棚卸資産	16,996	17,894	898
	その他流動資産	2,510	10,595	8,084
	貸倒引当金	▲4,743	▲1,027	3,715
	有形固定資産	4,047	3,451	▲595
	無形固定資産	30,007	28,957	▲1,050
	投資等計	42,466	41,766	▲699
<b>資産合計</b>	<b>1,142,251</b>	<b>1,244,580</b>	<b>102,329</b>	
負債の部	買掛金	206,858	200,770	▲6,087
	その他流動負債	128,994	82,819	▲46,175
	固定負債	9,372	10,490	1,118
	<b>負債合計</b>	<b>345,225</b>	<b>294,080</b>	<b>▲51,144</b>
純資産の部	株主資本	796,625	950,099	153,473
	新株予約権	400	400	0
	<b>純資産合計</b>	<b>797,025</b>	<b>950,499</b>	<b>153,473</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,142,251</b>	<b>1,244,580</b>	<b>102,329</b>	

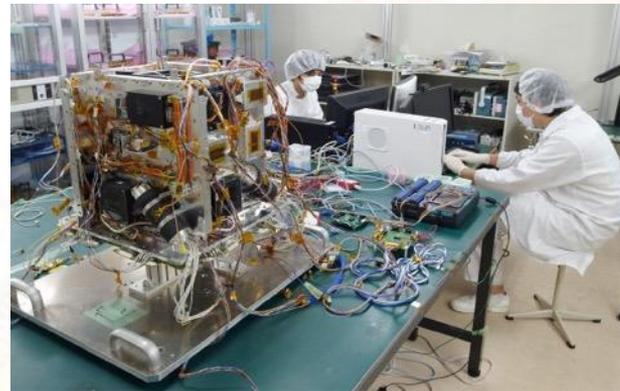


- ▶ **ハーネス加工を1-Click見積webサービス化**し、本格稼働へ。
- ▶ **認知客への販売促進**マーケティングを活性
  - TOPページ初心者向けパネル、よくある質問ページのリニューアル
  - 自社開発のAI解析**による独自のマーケティングオートメーション仕掛け
- ▶ QMS宇宙認証の更新
  - 提携工場で**航空/宇宙産業向け**の品質マネジメントシステム規格「AS9100認証」を更新。



WNISAT-1

アクセルスペース社  
小型人工衛星にも  
当社基板が採用。



宇宙関連の研究開発を行っている東京工業大学。真空下でも使用可能な品質を提供している。

## ▶ 業界展示会への出展、セミナー開催

10月、米アナログ・デバイス社主催 アナログ技術セミナー2018への出展

**250名**の新規ユーザー登録を獲得

11月、当社主催の最新エレクトロニクス技術セミナーを東京/大阪/名古屋で開催

**100名**の新規ユーザー登録を獲得

常設セミナールームにて、サービス導入セミナーを隔週定期開催

## ▶ エンジニアに光を！ GUGEN開催

12月、国内最大級ハードウェアコンテスト

**GUGEN2018を開催。**

開発コンテストMashup Awardsと共催で、  
過去最高**500名**の新規ユーザー登録を獲得。

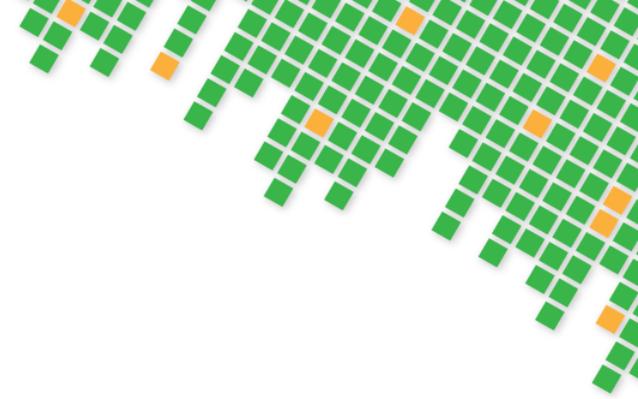
**タモリ倶楽部でコンテストの様子が放映予定**

2019年2月15日（金）24:20～24:50予定

（テレビ朝日系列：関東圏）



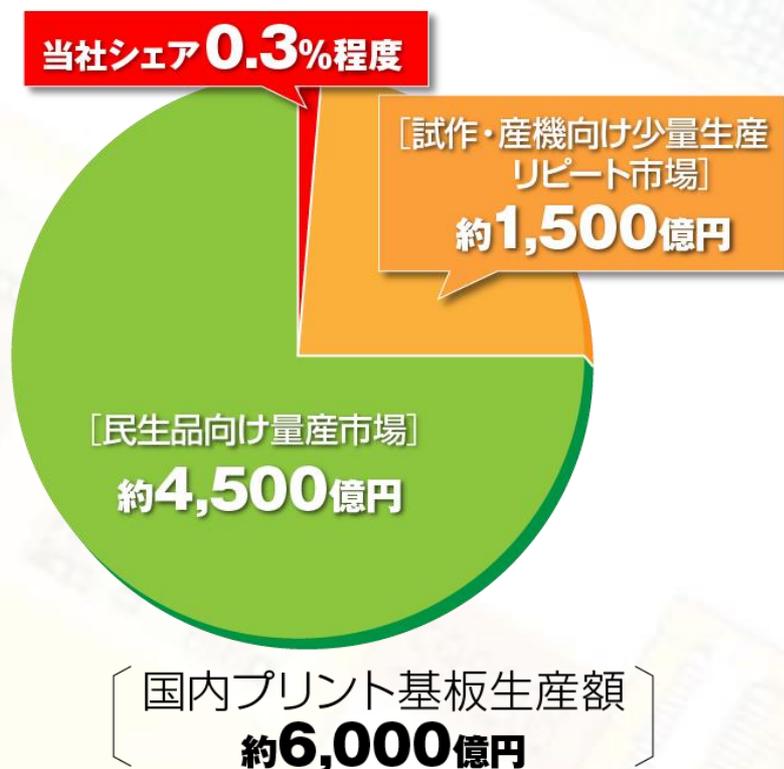
GUGENコンテストは大盛況



## 2. 今後の事業戦略

---

2018年のプリント基板国内生産額の予測は6,249億円。  
当社の現在の市場シェアは0.3%で、**成長フェーズにある。**

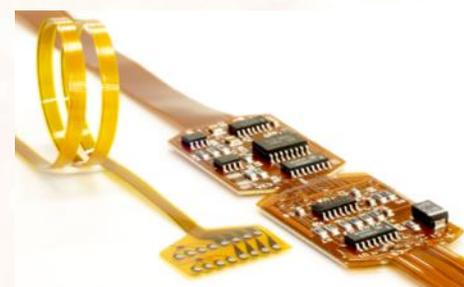


第4の産業革命と呼ばれる“IoT”により  
センサー市場は10年で**320%**増加（金額）の  
見通し。

**新規産業のIoT、ウェアラブル等に使用される  
軽薄短小、屈曲性のあるプリント基板の需要が  
拡大見込。**



極小化に用いられる  
ビルドアップ工法



屈曲が可能な  
フレキシブル基板

経営スローガン「開発環境をイノベーションする」  
モノづくりの工程を支える**GUGENプラットフォーム強化に投資**



- ① ワンストップソリューションの拡大
- ② 基板周辺サービスの拡充
- ③ 他社との連携によるバリュー・チェーン強化

**GUGEN** グゲンプラットフォーム PLATFORM

## ワンストップ・ソリューションの利用を促進させ、売上拡大

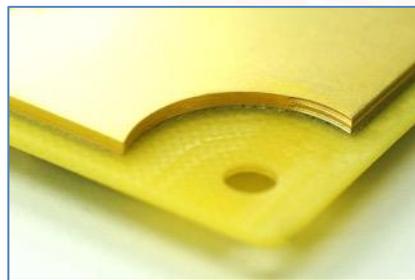
- ▶ **AI技術を駆使したBtoB独自**のマーケティング・オートメーションの確立
- ▶ GUGENプラットフォームを強化し、**モノづくりの工程のカバー領域を拡大**

## 次世代基板への取り組み（高放熱、大電流）

- ▶ 需要が拡大しているフレキシブル基板、ビルドアップ基板に加え、LED照明などに使われるメタル基板、EV・ロボットなど大電流制御の用途で使われる厚銅基板など、**取扱いラインナップをさらに充実**



金属板がベースの放熱性に優れるメタル基板は、熱を持ちやすい製品に多用



駆動にパワーが必要な製品など、基板上の銅部分が厚く大電流を流せる厚銅基板

### ハーネス加工サービスを本格稼働

2018年11月、**車載用など広く需要のあるハーネス**が、1-Click見積で注文可能となるサービスをリリース。取扱いアイテムの拡充によりGUGENプラットフォームの強化を図り、**新たな顧客層の獲得を目指す**。

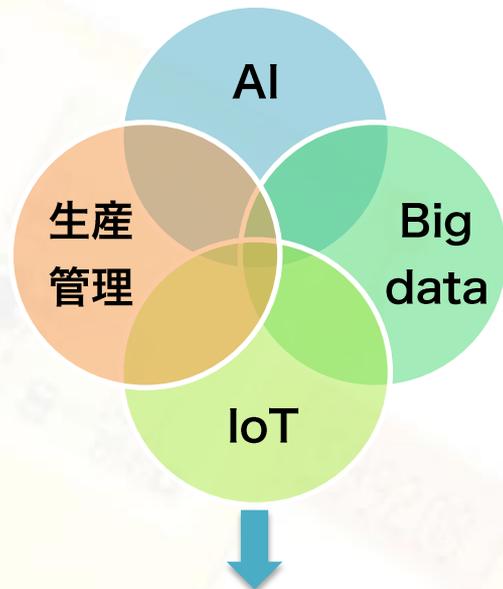
**ハーネス加工サービス**  
**リニューアルオープン**  
**1-Click見積に対応しました!**

**NEW!**

ハーネス加工サービス  
**1-Click見積**

## 業界唯一のサービス実現へ、海外企業との資本業務提携

2018年12月、スイス法人のSwissmic SAと顧客向けシステム開発で業務提携。  
**ハードウェア製造に通じ、高いプログラミング能力**をもつSwissmic社と、当社の  
プリント基板生産・管理技術のノウハウが融合することにより、**新たなサービスの付加価値を創造**し、ワンストップ・ソリューションの更なる拡大を狙う。



サービスの飛躍的向上



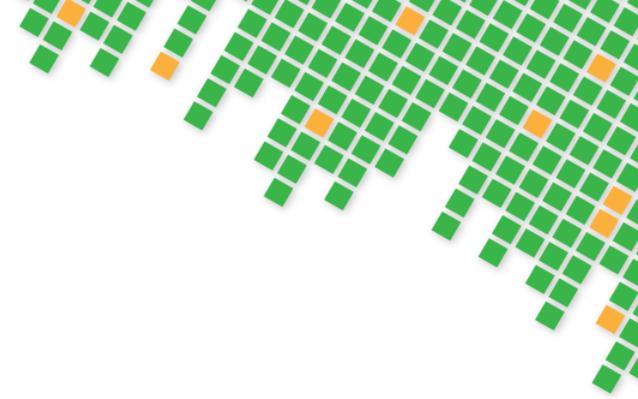
東証 兜倶楽部で  
共同記者会見



## AIを駆使した顧客向けシステムの開発

Swissmics社との共同開発により、今後2年間で従来の「**1-Click見積**」の**利便性を飛躍的に向上**させるシステムを提供、社内外の業務効率化を実現。開発第1弾は、AIによる部品調達回答の自動化。2019年半ばにリリース。





# 参考資料. 当社の事業概要

---

社名	株式会社ピーバンドットコム / p-ban.com Corp.
本社	東京都千代田区五番町14国際中正会館10F
設立	2002年4月（2017年3月東証マザーズ上場）
代表者	代表取締役 田坂 正樹
資本金	155,855千円（2018年12月末時点）
従業員	27名（正社員21名・臨時雇用6名）
事業内容	プリント基板のマーケットプレイス P板.com（ピーバンドットコム）を中心とした、 ”GUGENプラットフォーム”の運営
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人

# 開発環境をイノベーションする

テクノロジーを進歩させることで、  
社会問題解決を進める技術と製品を生み出し、  
人類の平和と繁栄を創り出す。

当社が取扱う商材のプリント基板とは、自動車、テレビ、スマートフォン、医療機器、発電機など、**”電子機器”**に**必ず使われる**主要な部品。

一つ一つの製品ごとに使われる基板は、**全てオーダーメイド**品。



プリント基板を上から見た様子

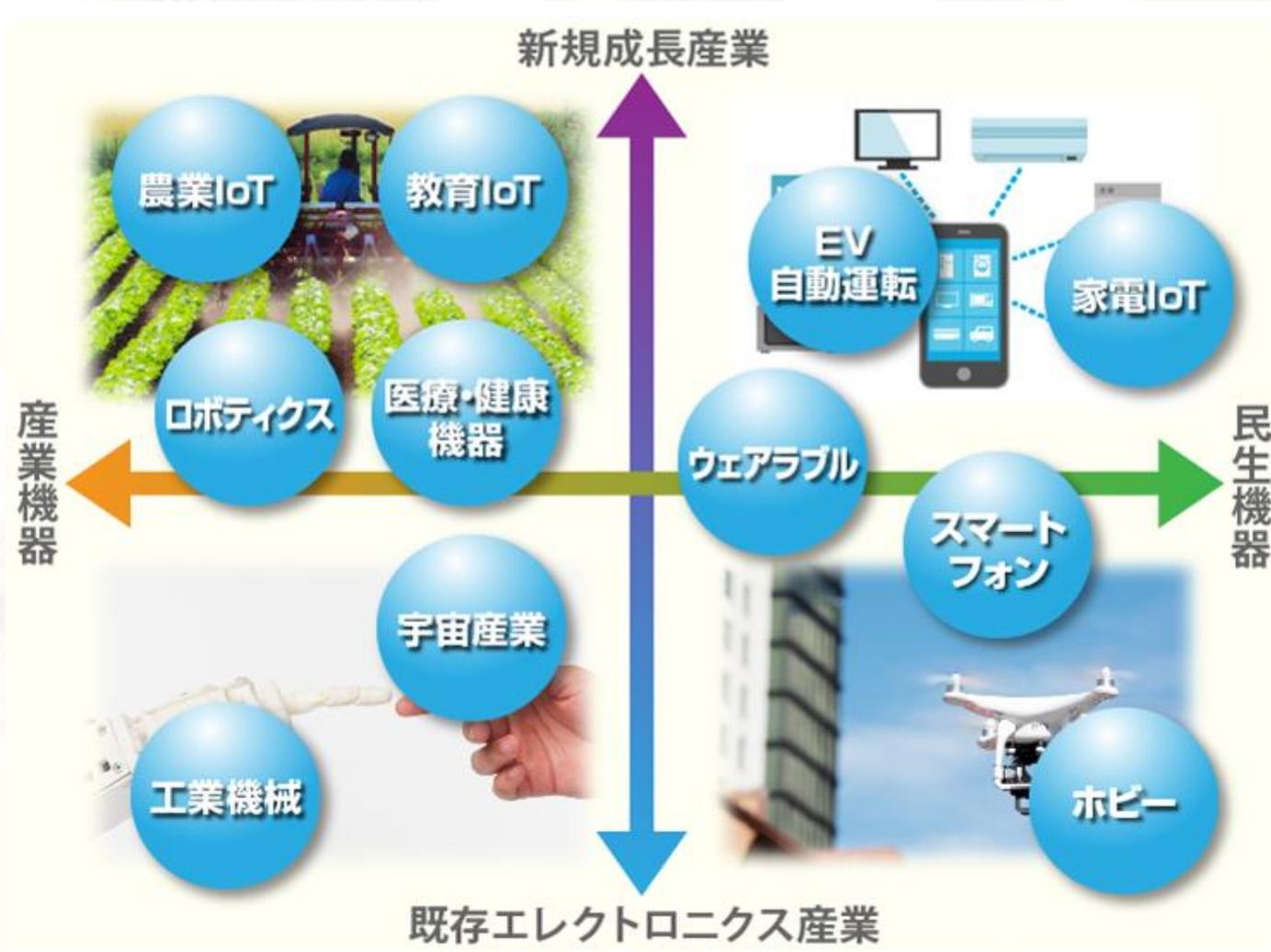
## プリント基板を取り巻く産業

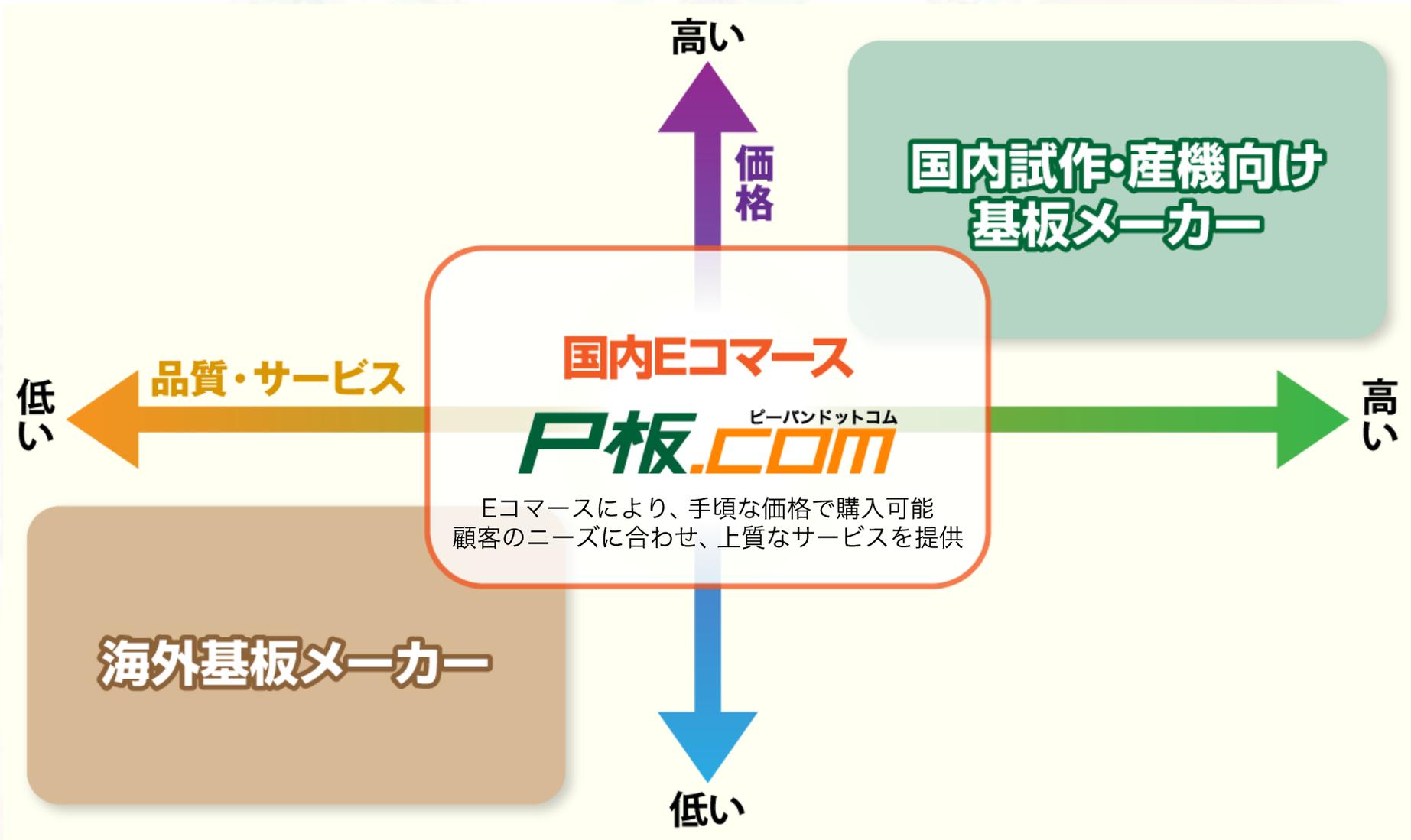
**既存のエレクトロニクス産業**

+

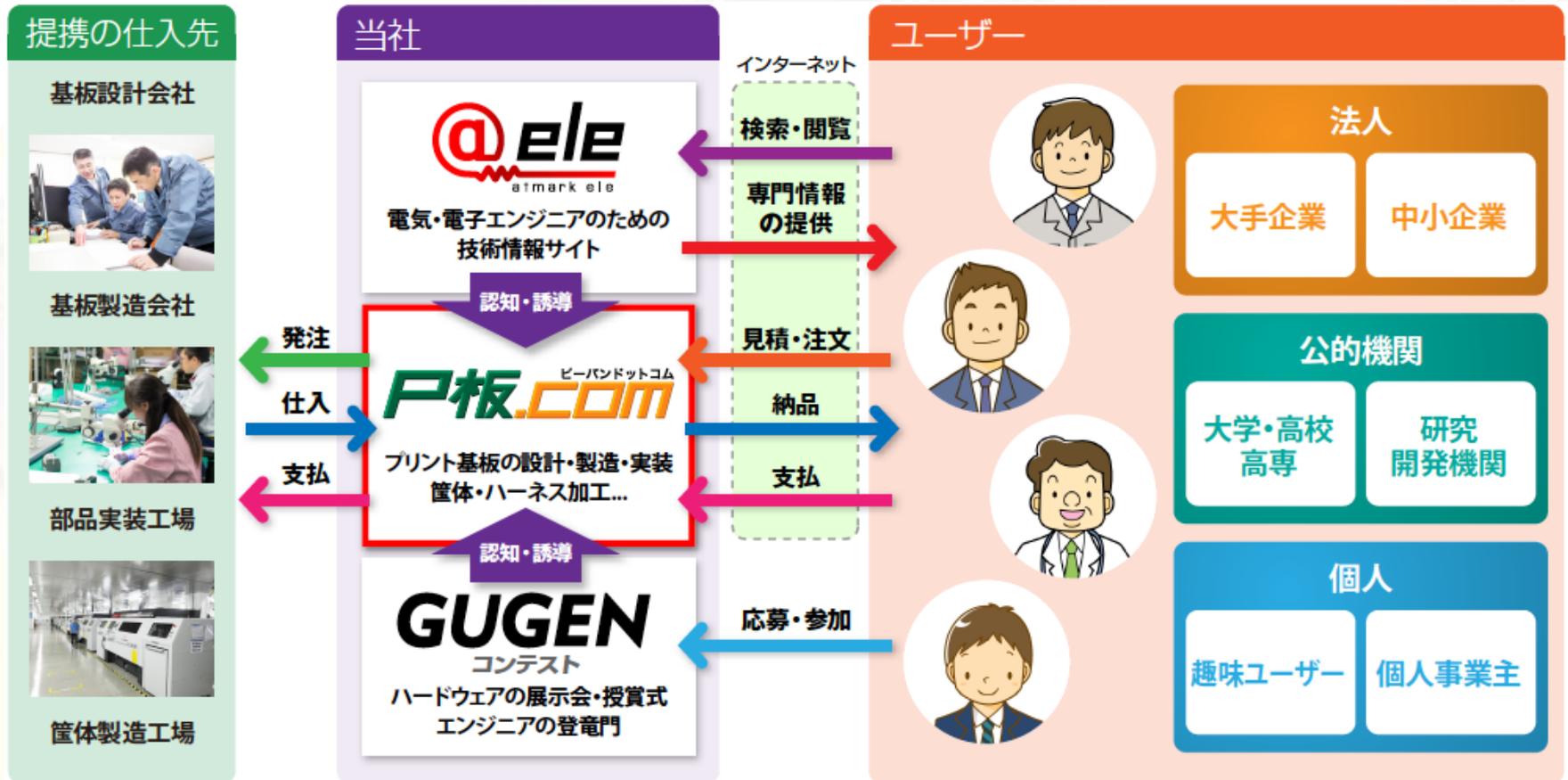
拡大傾向の産業分野

**IoT・宇宙開発・EV(電気自動車)  
自動運転・ロボット etc...**





## プリント基板が誰でも手軽に注文できる仕組みを提供





## プリント基板のEコマースサイトを運営

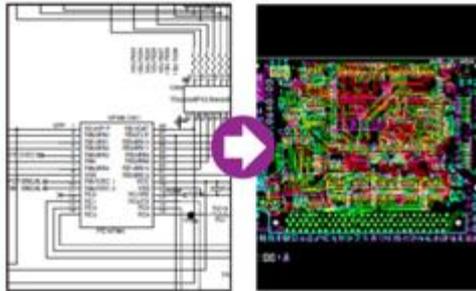
⇒ <https://www.p-ban.com/>

大企業から中小企業、個人、学校法人まで5万ユーザーが登録、設計・製造・実装の見積、注文をインターネットで完結出来るのはP板.comだけ！

### プリント基板の 設計サービス

(無料CAD提供サービス含む)

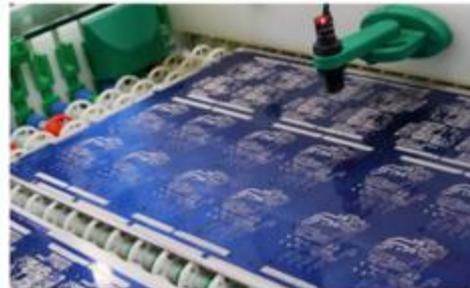
電子回路図(トランジスタ、半導体等の部品を繋げた図)を元に、部品の位置を決定し、プリント基板の製造に必要なレイアウトデータを設計する。



回路図データから、基板製造用データを作成。

### プリント基板の 製造サービス

製造用のデータを元に、銅はくが張られた基板から不要な銅を科学反応で除去し、データ通りのレイアウトとなるように基板を製造する。

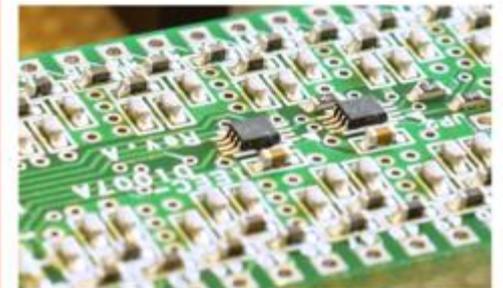


基板製造用データを元にプリント基板を製造。

### プリント基板への 部品実装サービス

(部品調達サービス・無料部品提供サービス含む)

製造した基板の上に、電子部品をはんだで取り付ける。部品の数や形状により、技術者による手実装と機械(マウンター機)実装を使い分ける。



プリント基板に電子部品をはんだ付け。

## 〈従来の購買方法〉

営業マンとの対面で交渉し見積提示、発注に至る



交渉がメーカー主導で、開発者の負担が多い  
もっと手軽に基板の作成を行いたい!

定価がなく、メーカーの言い値

高額なイニシャル費用が掛かる

納期は工場ラインの繁忙状況に左右される

纏まった枚数がないと受け入れられない

## 〈当社サービス〉

ウェブサイト上で自動計算で見積提示、発注出来る



誰にも公平な見積が提示され、余計な交渉が不要!  
誰もが手軽に基板を作成出来るサービス

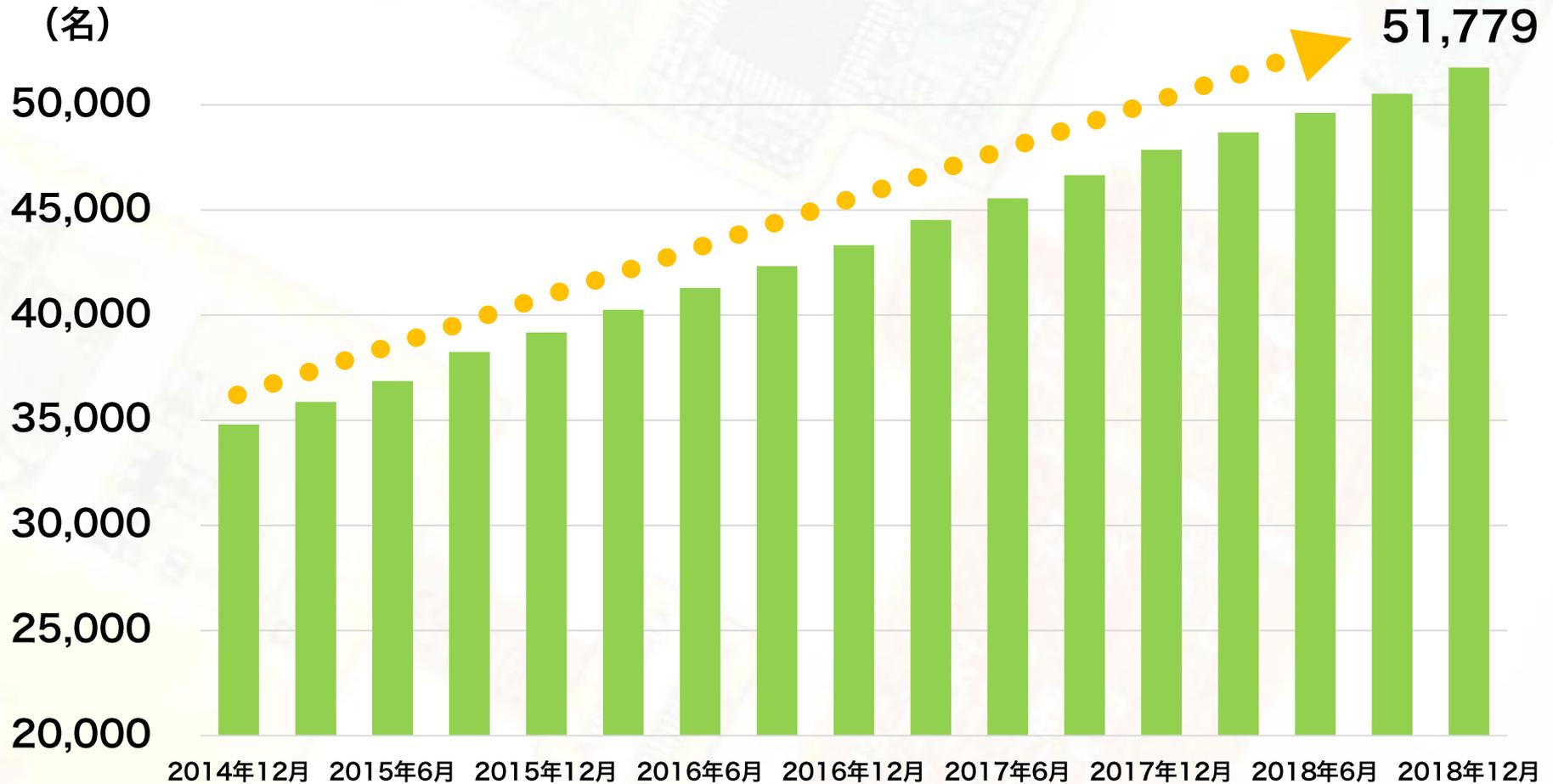
仕様で価格が決まる

イニシャル費用が無料

仕様で納期が決まる

1枚から注文可能

登録ユーザー数は、累計5万名を突破、  
継続成長を目指す。



当社は、2017年3月期第3四半期より四半期財務諸表を作成しており、2017年3月期第2四半期以前は監査法人による監査を受けておりません。

よって、本資料における2017年3月期第2四半期以前の数値は参考値として掲載させていただきます。

実際の業績等は今後の様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料業績予想と大きく異なる可能性があります。

本資料は、投資勧誘目的で作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料を全面的に依拠した投資判断を下すことはお控えください。